

# 第 5 章

---

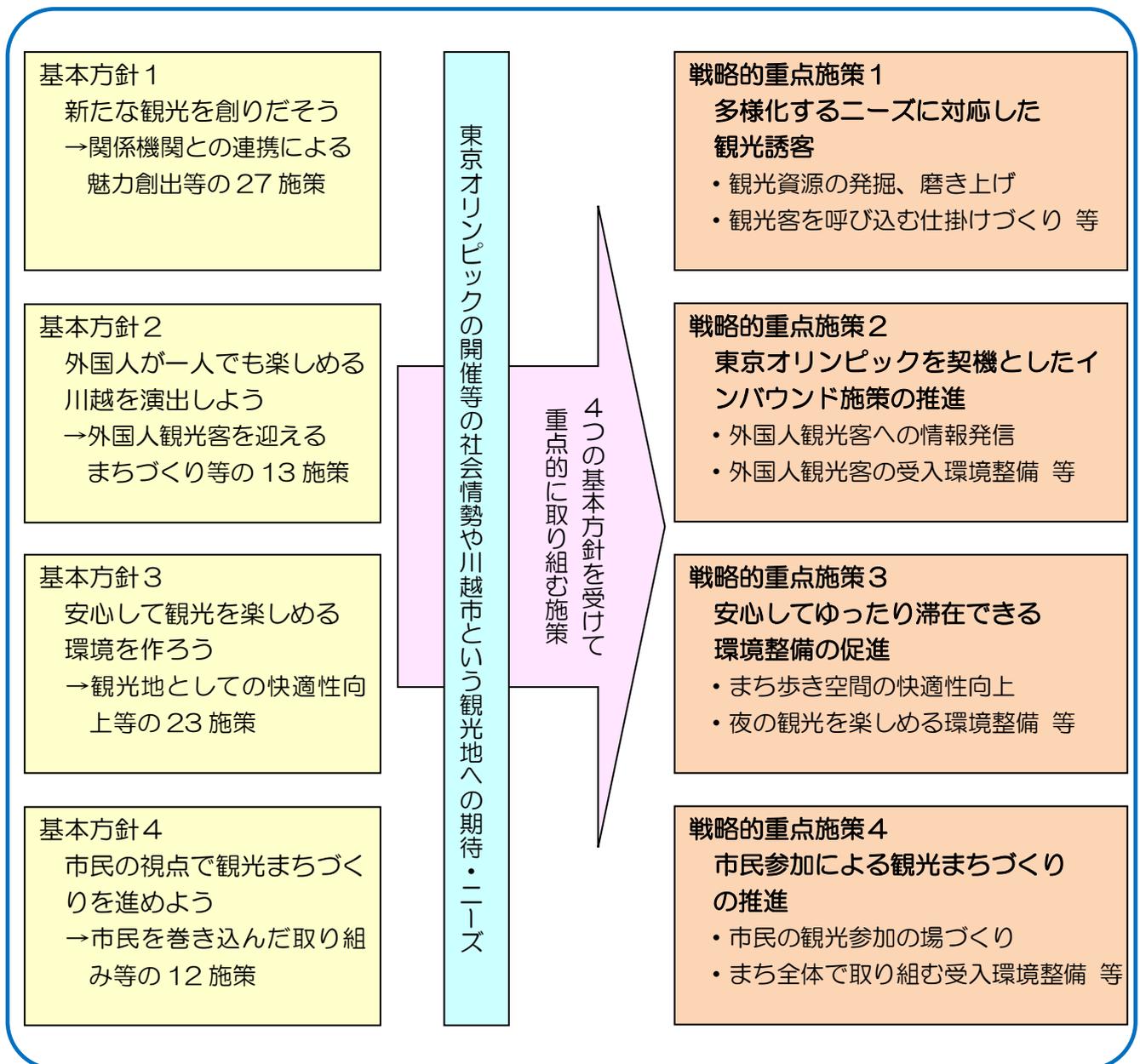
## 戰略的重点施策

## 第5章 戦略的重点施策

### 5-1. 戦略的重点施策の考え方

本計画の計画期間 10 年間のうち、平成 32（2020）年度までの 5 年間に、優先度が高く、短期的に実施する必要性が高い施策を 75 の施策の中から戦略的重点施策として位置づけます。

戦略的重点施策は、5 年間の事業スケジュールを定めて、進行管理を行います。



## 5-2. 戦略的重点施策の方向性

### (1) 戦略的重点施策1：多様化するニーズに対応した観光誘客

#### <現 状>

本市は年間 650 万人以上の観光客が訪れる県内有数の観光地ですが、本市を訪れる観光客は蔵造りの町並みや時の鐘といった、代表的な観光スポットに集中しており、体験型観光などの、歴史や町並み散策以外の見どころが少ないといった現状があります。また、観光客の年齢層については、10～20 代の観光客の割合が低く、観光客の出発地についても、8 割以上が関東地方からの観光客となっており、客層にも偏りが見られます。

#### <課 題>

観光客のニーズが多様化しており、従来型の観光では満足できなくなっている観光客が増えている中で、幅広い客層の観光客を誘致するには、地域特有の資源、生活文化、食文化などに目を向け、地域の観光関係者や市民を中心に、多様な観光資源を発掘し、磨き上げることが必要です。

また、地域における交流人口の増加を促すためには、コンベンションの誘致や若者を呼び込むための仕掛けづくりなど、新しい誘客手法にも目を向ける必要があります。

#### <事業スケジュール>

番号	施 策	実施年度				
		H28	H29	H30	H31	H32
1	市内及び川越ゆかりの地の観光資源の調査分析	観光資源の調査・分析				
		「日本遺産」認定		「日本遺産」情報発信、普及啓発		
6	コンベンション誘致の推進	誘致対象の調査 誘致戦略の検討		コンベンション誘致 アフターコンベンションの充実		
15	若者を呼び込むための仕掛けづくり	縁結びの支援（デートマップの作成・配布等）				

## (2) 戦略的重点施策2：東京オリンピックを契機としたインバウンド施策の推進

### <現 状>

全国の訪日外国人観光客は過去最高を記録し、本市の外国人観光客も増加傾向にあります。本市の外国人観光客については、台湾、中国、タイ、韓国など、アジアからの観光客が多い状況です。

また、東京オリンピックが開催される平成 32（2020）年に向けて、今後、ますます訪日外国人観光客の増加が予想されます。

### <課 題>

外国人観光客をさらに誘客していくためには、SNS 等を活用した効果的な情報発信により、本市の認知度を高めていくことが必要となります。

また、観光関連施設における外国語対応や観光案内所の多言語対応、観光サインの多言語化などにより、外国人が迷わず安心して市内の観光地を楽しむことができるような環境づくりも重要です。さらに、多様な生活習慣を有する外国人観光客への対応も必要です。

これらの課題を解決するために、外国人観光客のニーズに対応した人材育成と受入環境整備に関連する施策に重点的に取り組みます。

<事業スケジュール>

番号	施策	実施年度				
		H28	H29	H30	H31	H32
28	外国人観光客に向けた情報発信	多言語ホームページ・パンフレット プロモーション映像による魅力発信			見直し・言語の追加を検討	
31	外国人観光客への接 遇の向上	接遇講座の企画・実施		企画の見直し・実施		
		コミュニケーション ツールの作成・配布		コミュニケーションツールの活用		
32	外国人観光客の 受入環境の整備	無料Wi-Fiの整備				
		免税手続き一括カウンター導入検討			一括カウンター設置 または免税店PR	
		クレジットカード等の導入促進・啓発				
33	観光施設の多言語化	まつり会館内の案内表 示等の多言語化		まつり会館内の案内表示等の見直し		
		他の観光施設内の多言語化の検討		多言語化の実施		
34	文化の違いへの 対応	外国人の特性整理		施設等へのマナーや利用方法の表示		
		ハラル対応店舗等の把握調査・促進		ハラル対応店舗等のPR		
60	観光ガイドの育成	観光ボランティアガイド育成講座 の実施			見直し・実施	

### (3) 戦略的重点施策3：安心してゆったり滞在できる環境整備の促進

#### <現 状>

川越市観光アンケート調査によると、本市では、入込観光客数は増加傾向である一方、観光客の滞在期間は日帰り観光客が9割以上で、宿泊観光客は少なく、宿泊費はほとんど発生していない状況となっています。観光の滞在時間も3時間から半日程度の短い滞在時間の観光客が多い状況です。

また、観光客の本市に対する要望については、交通の安全性向上を求める声が4割程度と最も多い状況です。

#### <課 題>

日帰り観光客がほとんどを占める中、新たな交流人口の増加、滞在時間の延長、宿泊観光客のさらなる増加につなげていくためには、ライトアップや夜の観光ツアーなど、夜の観光を楽しめる企画やイベントの実施などが必要となります。

また、観光客に安心して長く滞在してもらうためには、歩行者天国を定期的を実施するなど、観光客が安全で安心して、快適にまち歩きを楽しめる環境づくりが求められます。

これらの課題を解決するために、一番街周辺における歩行者の交通安全対策、夜の観光、宿泊観光などの施策に重点的に取り組みます。

#### <事業スケジュール>

番号	施 策	実施年度				
		H28	H29	H30	H31	H32
46	一番街周辺の交通円滑化方策の検討	一番街等における交通円滑化方策の検討・関係者と調整 定期的な歩行者天国の検討・調整・実施				
54	夜の観光の推進	出合いの仕掛けづくり（ライトアップイベント・夜の観光ツアーの企画・実施）				
55	宿泊観光の推進	宿泊ニーズ・市内宿泊施設の調査		宿泊観光の誘致 民泊施設等の導入検討		

#### (4) 戦略的重点施策4：市民参加による観光まちづくりの推進

##### <現 状>

観光事業を円滑に進めるためには、行政単独では限界があり、市民の理解や協力が不可欠となりますが、本市では、市民における観光の重要度が低い状況にあります。また、市民が本市の観光を楽しみ、観光事業に参加する機会や、観光客と市民が交流する場が不足しており、観光への市民の理解も十分でない現状があります。

##### <課 題>

観光に関わりたいと考えている市民に対して、観光行政への関わりを持てる場や市民による情報発信を行う環境を提供することが必要となります。また、市民が観光に関わり、自らも観光を楽しめる環境づくりを進めることで、市民が住んでいるまちのことを知り、住んでいるまちに対して愛着と誇りを持てるようになるものと考えられます。

市民が観光行政に関わることで施策等を推進するだけでなく、自分たちの街に愛着と誇りを持ってもらうことを目的として、市民参加型の観光を推進します。

##### <事業スケジュール>

番号	施 策	実施年度				
		H28	H29	H30	H31	H32
64	市民参加型観光事業の実施	市民参加型のイベントの検討・企画		イベント等の実施		
65	市民に向けた観光情報の提供	市民への観光情報の提供 シティセールスによる市民に向けた川越市のPR				
67	観光客と市民の交流の場の提供	空き店舗等の状況把握 交流の場の整備に向けた検討・調整・整備				